



A I 時代を生き抜くために

校長 金泉 隆一

子どもの読解力やコミュニケーション力に異変が起きている。

その原因は何なのか。気になる調査結果がある。カギとなるのは、10年以降急速に普及し、内閣府の調査で今や青少年の約6割が使用しているスマートフォン。これが、言語機能やコミュニケーション機能をつかさどる脳の前頭前野に悪影響を与えている可能性があるというのだ。

調査を行ったのは、ニンテンドーDS用ソフト「脳トレ」シリーズの監修者としても知られる東北大学の川島隆太教授だ。仙台市立小中学校の児童・生徒7万人を対象に追跡調査した結果、スマホの使用で明らかに学力が低下し、使用を中止するとまた学力が向上するということが分かった。

なかでも、LINEなどメッセージアプリの影響が大きく、17年度の調査では、LINEなどを全く使用していない生徒の4教科の平均偏差値が50.8なのに対し、使用時間の長さに応じて偏差値は下がっていき、1日4時間以上使用している生徒の偏差値は40.6。実に10以上の差がついてしまった。川島教授によると、学習時間は十分にあっても、友人とメッセージをしながら…といったマルチタスク化が進むことで集中力がそがれ、勉強の効率が落ちてしまったことが要因の一つと考えられるという。

さらに恐ろしいことに、スマホを長時間利用すると、読書をした時に活発に働く前頭前野に、安静にしている時よりもさらに働かなくなる「抑制現象」が起き、健常児でも言語機能の発達に遅れがでることがあるらしい。この抑制現象はテレビやゲームを長時間利用した時にも起こるといふ。

「スマホはお酒と同じで、『利用時間を1時間以内に留める』など、自制心を持って利用すれば悪影響は出ないことも分かっています。ただ、それは大人でもかなり難しいことだと思います」(川島教授)

相手の気持ちを思いやった上で言葉を発したり、試行錯誤したり、新しいアイデアを発想したり…。前頭前野が担うのは、AIが苦手な、かつ人間が得意とする「思考」や「発想」だ。AI時代を生き抜くために最も必要とされる能力が、スマホやテレビ、ゲームといった、かつて人が生み出した機器によって衰えつつあるとしたら何とも皮肉だ。

上の文章は、最近目にした記事の一部です。

出張の際、電車に乗ってもバスに乗っても、車中ではスマホの画面に目を落としている人がほとんどです。休日の公園でも子どもを遊ばせながらも、子どもを見ずにスマホを見てお母さんの姿もあります。また、子どもたちもスマホを手にする姿がたくさん見られるようになりました。

今やスマホのない生活はあり得ないような世の中ですが……。上の記事にあるようなスマホの長時間利用による「脳」への悪影響を考えた時、子どもたちのことが心配でなりません。スマホを買い与えたまま、その使用を子ども任せにしてしまっているのは、子どもによいことはありません。

子どもたちの会話の中で「YouTube」に関する内容を耳にします。中には、夜遅くまで視聴している子がいるという話も耳にします。夜遅くまでの視聴が原因で、生活が昼夜逆転して、朝起きられず学校に行かない中高生もいると聞きます。うっかりすると小学生にも似たような子どもがいてもおかしくありません。そうした子どもたちはどうなってしまうのか……。心配でなりません。

学校では、子どもたちが健やかに成長していくためにと考え、「加平小の教育」「学校のホームページ」に「SNS学校ルール」が掲載しています。その中に、

「携帯電話やスマホ・タブレット等は、9時以降は親にあずけます」

と、あります。(SNS足立ルールも同様です。)

このルールは、守られているでしょうか？

「SNS家庭ルール」では、どのようなルールになっているでしょうか？

学校は、使い方について注意を促すことはできます。しかし、その使用の実際を見ることはできません。それができるのは、保護者の皆様なのです。

スマホの使い方によっては、子どもに悪影響を与える危険性があります。子どもたちの健やかな成長のために、大人が働きかけることが必要です。

まずは、「SNS家庭ルール」を見直し、そのルールを守るようご指導ください。



6月行事予定

日	曜	行事予定	相談室	かへいキッズ (年)	あいさつ当番
1	金	交通安全教室(1年・2年・4年) 内科検診(1年・3年) プール前健診(1年・該当者)		2~6	4-1
2	土				
3	日				
4	月	色覚検査①(4年)		3~6	4-2
5	火	色覚検査②(4年) 体カテスト(1~4年生は午前授業)	○	3・5・6	
6	水	色覚検査③(4年) 特別時程 委員会活動(5・6年生6時間目)		2・4	
7	木	パワーアップタイム		2~6	
8	金	鋸南健康相談(5年) 特別時程	○	2~6	
9	土				
10	日				
11	月			3~6	4-3
12	火	エンジョイタイム	○	3・5・6	
13	水	鋸南自然教室(5年) 4時間授業		2・4	
14	木	パワーアップタイム		2~6	
15	金		○	2~6	
16	土				
17	日				
18	月	学校公開① あじさい読書旬間 水泳指導始 もりもり給食ウィーク		3~6	3-1
19	火	学校公開② エコキャップ授業①(4年)	○	1・3・5・6	
20	水	学校公開③ エコキャップ授業②(4年) ブックシャッフル(読書タイム)		1・2・4	
21	木	全校遠足(雨天時はパワーアップタイム)		※なし	
22	金	青井中体験入学(6年)	○	2~6	
23	土	土曜授業 学校説明会 学校公開④ セーフティ教室(1~4年2時間目・5、6年3時間目)		なし	
24	日				
25	月	学校公開⑤ エンジョイタイム		3~6	3-2
26	火	特別時程 外国語研修授業(6年)	○	1・3・5・6	
27	水	特別時程		1・2・4	
28	木	全校遠足予備日 パワーアップタイム		※2~6	
29	金	クラブ活動(4~6年生)	○	2~6	
30	土				

※6/21日のキッズは、遠足が実施されない場合があります。28日も、遠足でなければ同様です。

7月の主な行事

6日・9日・10日・12日・17日：個人面談 4日・6日・9日・10日・17日・20日：特別時程
7日：土曜授業 13日：クラブ活動 18日：4時間授業 20日：夏休み前最終登校・給食終
23日~30日：サマースクール・夏季水泳教室(水泳教室は24日から)

<学校公開について>

今年度の学校公開は6月18日(月)~20日(水)、23日(土)、25日(月)です。参観時間は昨年と同様に2・3時間目、5・6時間目が基本となります。日頃のお子様の授業の様子をぜひご参観下さい。また、各学級前にアンケート用紙を置いておきますので、お気づきの点などお書きになって、入り口のアンケートボックスに入れるか、お子さんを通して担任にお渡しください。詳しい各学級の時間割などは、別紙お便りが出ますのでそちらをご確認ください。

生活指導部より

今月の生活目標

天気にあわせた過ごし方を考えよう。
進んで自分の健康を考えよう。



天気の良い日は元気に外遊びを楽しんでいる子供たちですが、雨の日が多くなるこの時期、教室内で工夫して遊ぶことができるように指導していきます。また、これから気温が高くなっていくとともに、水泳指導が始まります。衛生面・体調面への配慮とともに、ご家庭でもハンカチ・ちり紙を身に付ける、好き嫌いせずしっかり食べる、早寝早起きをするなど、お子さんへの声かけをお願いします。

ひまわり教室から



昨年度より、加平小学校で開設されたひまわり教室。ひまわり教室では、自分の思ったことを上手に伝えられることや、友だちと楽しく関われるようになること、イライラをコントロールして、落ち着いた気持ちで過ごせる時間が増えること等をねらいとして学習をしています。

ひまわり教室には「こんにちは！今日はどんなことをしますか？」とみんな笑顔で来ています。一人一人の課題にあった教材で学習を進めていますので、楽しんで学習に取り組む児童がとても多いです。

今後も一人でも多くの児童が、楽しく学べる「学校」をめざして充実した「ひまわり教室」になるよう、努めていきたいと思えます。

担当 江田 茜

日光宿泊学習を終えて

6年生は、5月28日(月)～30日(水)に、日光自然教室に行ってきました。日光の歴史や自然、文化などを学ぶことを中心に三日間を過ごしてきました。昨年度の鋸南自然教室での経験を生かし、5分前行動や礼儀、マナーなど一人一人がしっかりと意識して行動することが出来ました。

1日目は、「イワナつかみ体験」と「日光木彫り体験」を行いました。イワナつかみでは、ひんやりと冷たい水の中、足元を泳ぐイワナにビクビクしながらも両手でしっかりと掴むことができました。その後、塩焼きのイワナを美味しく頂きました。木彫り体験では、日光彫りの職人さんが使用する「ひっかき刀」を使って伝統工芸を体験してきました。みんな集中して取り組み、世界に一つだけの作品を作ることができました。

2日目は、「華巖の滝」の見学と「足湯・源泉見学」「戦場ヶ原」のハイキングを行いました。戦場ヶ原のハイキングでは、植物や野鳥にも目を向けながら、大自然の中を歩きました。夜は、レク係を中心に練習してきたキャンプファイヤーを行いました。歌ったり踊ったり楽しい時を過ごしました。最後は一人一人が願い事を書いた短冊を炎の中に入れて燃やしました。

3日目は「日光東照宮」の見学です。陽明門や眠り猫などの国宝を見ることも事前学習から楽しみにしていました。ガイドさんから詳しい説明を受けた後は、行動班で協力しながら、ウォークラリーに挑戦しました。子供たちの様子を見てみると、周りを見てしっかりと行動したり、リーダー性を発揮する場面があったりととても頼もしく感じました。

この3日間で「協力することの大切さ」や「感謝の気持ちをもつ」ということも意識して行動することができました。自分たちに関わってくださる方々が気持ちよく過ごせるように、相手のことを考えることができたと感じています。相手の気持ちを考えることは、明日からの学校生活でも、社会に出てからでもずっと必要な力になります。この共同生活で培った力や学んだことを今後の学校生活でも発揮するよう指導していきたいと思えます。6年生は、次は来月の全校遠足のリーダーや体力テストの下級生のお手伝い等、最上級生として動く場面もたくさんあります。3月に一人一人が胸を張って卒業し、次の新しい道へ進むことができるよう、今、目の前にある一つ一つのことをしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

6年2組担任 草間 優佳

☆たてわり班活動☆

たてわり班活動がスタートしました。1年生から6年生まで一つの班が10人～12人の構成になっています。この日は、第2回目のたてわり班遊びでした。鬼ごっこに、長縄、だるまさんが転んだにドッチボールなど、6年生のリーダーが考えた遊びをみんなで仲良く行いました。

